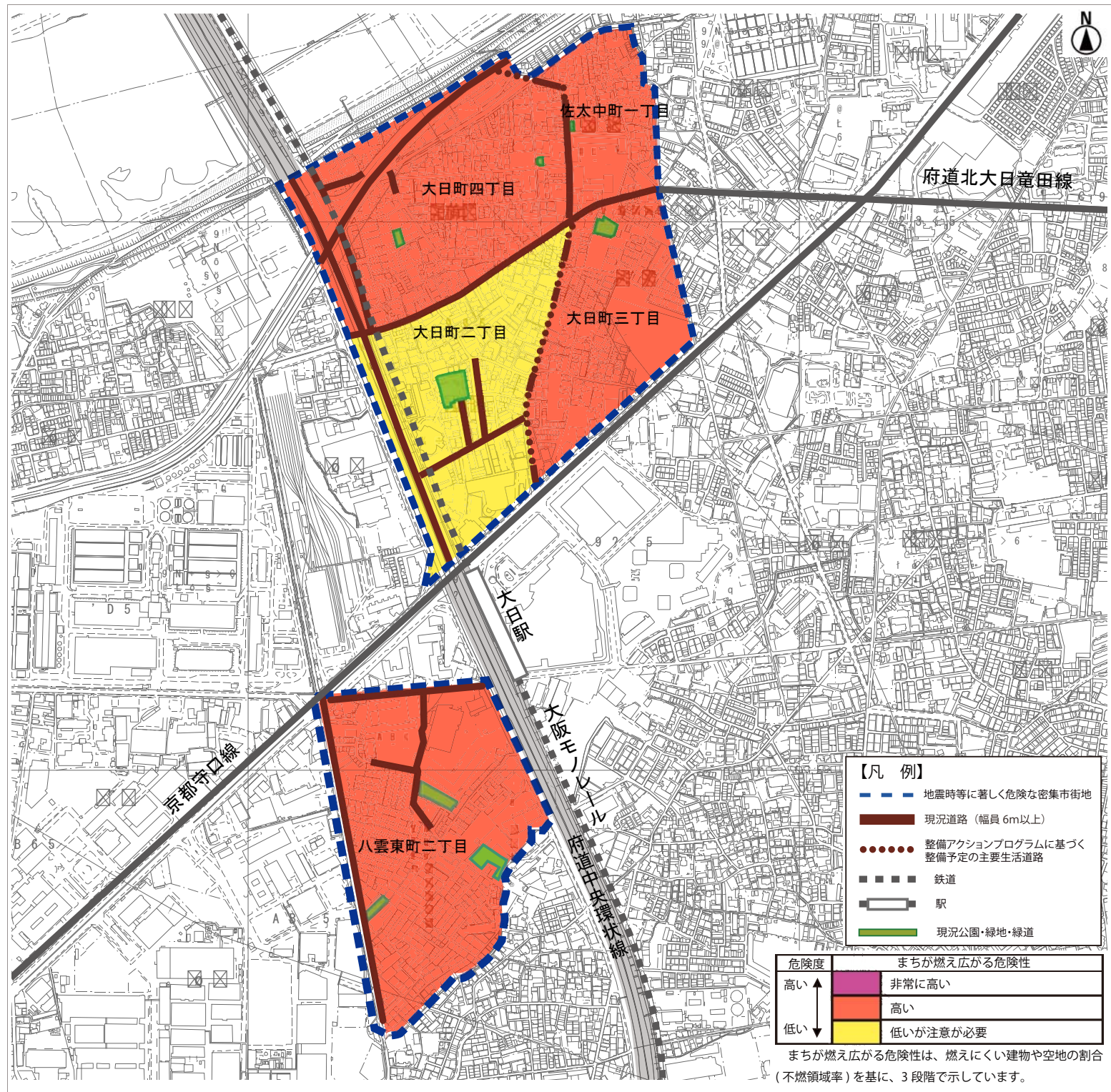


# 密集市街地まちの防災性マップ ~燃え広がりにくさマップ~

守口市 大日・八雲東町地区



## 密集市街地まちの防災性マップとは

このマップは、密集市街地のうち重点的に改善を図る地区である「地震時等に著しく危険な密集市街地」において、地震時等の火災によって「まちの燃え広がる危険性」を町丁目単位で示したものです。

守口市では、災害時の避難路となる主要生活道路などの整備及び老朽木造賃貸住宅の除却補助を行い、防災性の向上を推進しています。

市民の皆様には、このマップを参考にいただき、今後の巨大地震等に備えて頂くと共に防災意識向上の一助として頂きますようお願いいたします。

# 「密集市街地まちの防災性マップ」の色の違い

下記は「密集市街地まちの防災性マップ」の色分けについて、まちが燃え広がる危険性をイメージしたものです。特に地震時は、火災が同時多発的に発生することや、家屋の倒壊等により、消防活動が困難になることも考えられるため、注意が必要です。

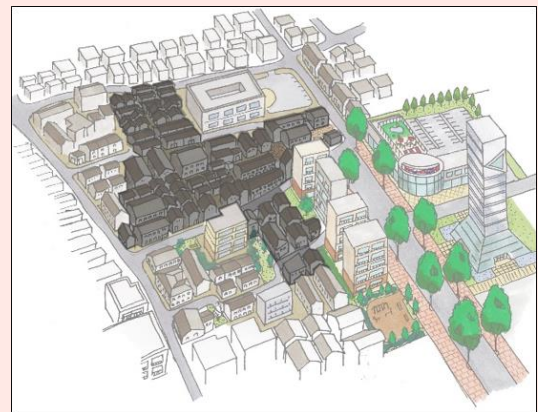
## 非常に高い

- 古い木造住宅が密集しており、狭い道路が多く、公園や空地などがほとんどない。
- 広幅員道路や主要生活道路、公園のほか、学校などの燃えにくい建物が少ないため、広い範囲に燃え広がる危険性が非常に高い。



## 高い

- 古い木造住宅の建替えや公園、主要生活道路のほか、一部で広幅員道路の整備が進み、その沿道ではマンションなどの燃えにくい建物の建設も行われている。
- 広幅員道路の整備やマンション等の建設が進んでいる地域では、延焼が食い止められるが、古い木造住宅の密集地域では、依然として燃え広がる危険性が高い。



## 低いが必要

- 公園や広幅員道路の整備とともに、古い木造住宅の建替えにより、マンションなどの燃えにくい建物も建ち並んでいる。
- 広幅員道路やマンションなどの建物により延焼が食い止められ、大規模火災にはなりにくいですが、一部で古い木造住宅が残っており、燃え広がる危険性があるため注意が必要。



■ : 延焼の恐れがある範囲

□ 阪神大震災時の長田区の被害状況〔焼失面積：約70ha (甲子園球場約17.5個分)〕



## 災害に対する備え

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するために、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。また、避難時に通行の妨げにならないよう、日頃から避難経路に物（植木や自転車など）を置かないように心がけましょう。